

## コンクリート改質剤(下地強化剤)

# エレホン アルカードエポ

エレホン・アルカードエポは、比較的低分子量のエポキシ樹脂と低粘度変性脂環式ポリアミン硬化剤とを組み合わせた浸透性エポキシ系下地強化剤です。

劣化した下地の内部及び表面の強度を高め補修モルタルと下地との接着界面からの剥離を防止します。

### 特長

- ▶ エポキシ分子量の調整及び浸透性を高める溶剤で希釈しているため、下地への浸透性が優れています。
- ▶ 硬化体は気孔及び毛細管を充填すると共に結合剤として働きますので、劣化部の強度が向上します。
- ▶ 硬化後は、耐水性、耐薬品性に優れ、長期にわたって強度を保持します。

### 用途

- 劣化したコンクリート表面や内部の強度向上

### 性状

	アルカードエポ(主剤)	アルカードエポ(硬化剤)	試験方法
混合重量比	2	1	—
外観	透明液体	コハク色液体	JIS K 5600-1-1
比重	0.95~1.05	0.90~1.00	JIS K 7232
粘度 (mPa·s)	5~20	30~70	JIS K 7233
固形分(%)塗膜形成成分	57~63	62~68	—
可使用時間	4時間(20℃)		—
指触乾燥時間	2時間(20℃)		JIS K 5400
接着強さ	2.6N/mm <sup>2</sup> (コンクリート破壊)		建研式

- 荷姿 (9kgセット)
  - ・主剤 6kg
  - ・硬化剤 3kg缶



### 施工要領

- ① 下地処理 浮き部、劣化部等を除去し清掃後、アルカードエポを塗布します。主剤2:硬化剤1の割合でよく攪拌した後、塗布して下さい。
- ② 塗布
 

標準塗布量(g/m <sup>2</sup> )	300
--------------------------	-----

ハケ又はローラーにより塗布します。塗りむらのないように、均一に良く浸透させて下さい。下地が湿った状態では浸透しにくくなりますので、乾燥状態で塗布して下さい。下地の状態で塗布量は異なりますが、劣化はつり部は、可能な限り多く塗布して下さい。
- ③ 養生 屋外の場合は夏期で2時間以上、冬期で4時間以上、屋内の場合は24時間以上養生し、アルカードエポが硬化していることを確認後、次工程に進んで下さい。

## 性能

### ●引張試験結果

#### 〈試験方法〉

S/C=4の低強度モルタル基板を作製し、20℃で24時間養生した後、たわしを用いて表面を洗浄し、24時間60℃で基板を乾燥させた。冷却後、アルカードエポを300g/m<sup>2</sup>塗布し、3日後、建研式接着試験器で接着力を求めた。

	1	2	3	平均
アルカードエポ塗布	2.0	2.5	2.1	2.2
無塗布	0.8	0.8	0.7	0.8

(N/mm<sup>2</sup>)

### ●耐摩耗試験結果

#### 〈試験方法〉

S/C=4の低強度モルタル基板を作製し、20℃で7日間養生した後、24時間60℃で基板を乾燥させた。冷却後、アルカードエポを300g/m<sup>2</sup>塗布し、3日後、耐摩耗試験を行った。

200回転磨耗量(g)	1	2	平均
アルカードエポ塗布	0.23	0.20	0.22
無塗布	5.70	5.31	5.51

500回転磨耗量(g)	1	2	平均
アルカードエポ塗布	0.42	0.50	0.46
無塗布	中止(底面付近まで磨耗したため)		

※耐摩耗試験条件 磨耗輪 : H-22 輪荷重 : 500g

注)上記は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

### ●使用上の注意

- ・ご使用に際してはMSDS(製品安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・取り扱い時には適切な保護具(ゴム手袋、保護マスク(有機ガス用、送気)、保護衣、ゴーグル等)を着用して下さい。
- ・使用時や保管場所の周囲は火気厳禁です。
- ・主剤、硬化剤を混合したものは保存できません。
- ・使用後は密栓し、直射日光を避け、涼しい所に保管して下さい。
- ・紫外線劣化しますので、アルカードエポ硬化後は保護材をかけて下さい。

### ●本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。  
しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

#### 代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エレホン・化成工業株式会社**

**EREWHON**

<http://www.erewhon.co.jp/>

●本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町2-12-50	TEL (06) 6388-6585	FAX (06) 6388-6561
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東・東支店	〒340-0055	埼玉県草加市清門町2-4-8-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●盛岡営業所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
●新潟営業所	〒950-0925	新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31	TEL (025) 286-6260	FAX (025) 286-6263
●関東・北営業所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
●関東・西営業所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台19-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●神戸営業所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●北九州営業所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-14-47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●㈱エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜1-9-3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●㈱エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230